

全国のボランティア・市民活動、地域福祉関係者による 「未来の豊かな“つながり”のための全国アクション」をスタートします

テーマ：つながろう、未来の“つながり”のために

新型コロナウイルスの感染拡大により、接触機会が制限されるなか、地域でのつながりづくりに取り組んできたボランティア・市民活動や生活支援の取り組みにも大きな影響が及んでいます。

しかし、こうした状況の中でも、日頃から築いてきた地域のつながりを途切れさせない活動の工夫、生活が困窮したり、孤立しつながりからこぼれてしまう人たちと新たに繋がろうとする懸命な取り組みが、全国各地で新たに生まれています。

そこで、WEB等を活用し、感染防止策を講じながら活動する方法や工夫を集め、情報発信するとともに、活動者間の交流を図り、全国の実践を後押しすることを目的に、全国アクションをスタートさせることとしました。

この運動は、ボランティアや市民活動の推進、地域における生活支援等に関わってきた全国団体が共同して進めます。

「全国アクション」ホームページ <https://www.tunagari-action.jp> (5月下旬公開予定)

※ホームページ公開までの間のご案内は以下に掲載します。

全社協 地域福祉・ボランティア情報ネットワーク <https://www.zcwvc.net/>

NPO 法人 全国コミュニティライフサポートセンター <http://www.clc-japan.com/>

■取り組みの例

ひとり暮らし高齢者等に「つながりニュースレター」を配布し、家でできる体操等の情報を掲載。往復はがきを同封し、近況を知らせてもらう。

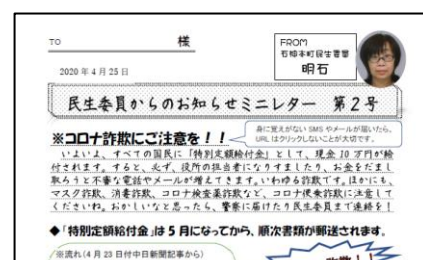
(大阪府・
阪南市社協)



生活が苦しい子育て世帯に、農家や企業から寄せられた食材を戸別配達。スマートフォンから簡単に申し込むことができ、利用者とはLINEで継続的にやりとり。(宮崎県・三股町社協)



民生委員が、地区内のひとり暮らし高齢者宅に、訪問の代わりに電話で安否確認。外出制限のなかでの工夫した暮らしを教えてもらったり、顔が見えなくても声のトーンでその人の暮らしを推し量っている。ミニレターも作成し、詐欺被害への注意を呼び掛けている。(名古屋市・民生委員)



【連絡先】社会福祉法人全国社会福祉協議会

地域福祉部/全国ボランティア・市民活動振興センター

TEL03-3581-4655・4656 FAX03-3581-7858 z-chiiki@shakyo.or.jp

趣意書

つながろう、未来の“つながり”のために

2020年5月15日

私たちは、地域住民、ボランティア・NPO、民生委員・児童委員、社会福祉協議会、社会福祉法人・福祉施設などの活動を通じて、誰もがいきいきと安心して暮らせる地域をめざし、つながりづくりを進めてきました。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大により、今、人と人とが互いに距離を取り、接触する機会を減らすことが求められています。これにより私たちがこれまで進めてきた活動は制限され、力を発揮できない状況にあります。

ただ、こうした状況は、誰かとつながっていること、誰かを支えたり支えられたりしていること、そうしたことの大切さを改めて私たちに気づかせてくれました。

外出自粛が長期化するなかで、つながりを途切れさせない活動の工夫、生活が困窮したり、孤立しつながりからこぼれてしまう人たちと新たにつながろうとする懸命な取り組みが、全国各地で新たに生まれています。

そこで私たちは、つながることをあきらめず、感染防止策を講じながら活動する方法や工夫を集めて提供する、悩み葛藤しながら活動している仲間たちの交流を図る、そうした取り組みをWEB等を活用して進めることで、全国の活動者や組織・団体の実践を後押ししたいと、この運動を立ち上げました。

この運動を、ボランティアや市民活動の推進、地域における生活支援等に関わってきた全国団体が共同して進めることで、つながりづくりの機運を盛り上げ、あわせてICTなどコミュニケーションツールの活用により、これまでつながれなかった人との新たな関わりを生み出すなど、感染症への対応の収束後におけるより豊かな地域共生社会づくりの活動につなげたいと考えています。

多くの方々にこの運動にご参加いただき、知恵や工夫、思いを共有することで、未来の豊かな“つながり”をともに築いて参りましょう。

「未来の豊かな“つながり”のための全国アクション」主唱団体

公益財団法人さわやか福祉財団

一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク

特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター

社会福祉法人全国社会福祉協議会／全国ボランティア・市民活動振興センター

全国社会福祉法人経営者協議会／全国社会福祉法人経営青年会

全国民生委員児童委員連合会

社会福祉法人中央共同募金会

認定特定非営利活動法人日本NPOセンター

日本生活協同組合連合会

認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会

「広がれボランティアの輪」連絡会議

(順不同)

令和2年5月15日

「未来の豊かな“つながり”のための全国アクション」事業計画

1. 趣旨

- 新型コロナウイルス感染拡大で、人と人とが互いに接触する機会を減らすことを求められている。これまで地域において、住民・市民が人に寄り添い、つながりづくりを進めてきたボランティア活動や市民活動にとって力を発揮しにくい状況になっている。
- ふれあい・いきいきサロンや見守り活動、住民による助け合い活動、当事者団体の集まり等、様々な地域福祉活動に影響が及んでおり、閉じこもりによる高齢者のフレイルの進行、障害者などの社会的孤立の深刻化が懸念される。
- こうした状況の中、感染防止に十分注意を払いながら、住民同士の“つながり”を継続するための活動方法や工夫について情報収集し、各地域での取り組みのポイントを示すため、WEB(ホームページ等)を通じて情報提供する。
- また、主唱団体およびその傘下の構成団体等とともに、新型コロナウイルス感染下での“つながり”づくりの機運を盛り上げ、あわせて ICT などコミュニケーションツールの活用を図り、これまで“つながり”が弱かった人たちとの新たな関わりを生み出すなど、コロナ後におけるより豊かな地域共生社会づくりの活動につなげたい。

2. 活動テーマ

「つながろう、未来の“つながり”のために」

3. 実施内容

- ・感染拡大下におけるボランティアや地域福祉活動の実践事例を収集し、活動内容や工夫、効果等を簡潔にまとめてホームページ(専用サイトを新設)に掲載する。
- ・事例は各主唱団体等からの呼びかけで収集し、それぞれの責任で整理・掲載する。
例:電話や SNS での見守り・相談活動、LINE でラジオ体操、手紙による交流、手作りマスクの福祉施設等への寄贈、生活困窮者支援のためのフードドライブ、物品等の寄付募集、給食食材を利用した高齢者への配食、キッチンカーでの子ども食堂(弁当配布)等
- ・共通ロゴマーク、イラスト等を作成し、参加団体のサイトやメールニュース、SNS等を通じて拡散することで機運を盛り上げる。

4. 「全国アクション」主唱団体

公益財団法人さわやか福祉財団

一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク

特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター

社会福祉法人全国社会福祉協議会／全国ボランティア・市民活動振興センター

全国社会福祉法人経営者協議会／全国社会福祉法人経営青年会

全国民生委員児童委員連合会

社会福祉法人中央共同募金会

認定特定非営利活動法人日本 NPO センター

日本生活協同組合連合会

認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会

「広がれボランティアの輪」連絡会議

※今後、運動の趣旨に賛同し、PR や事例提供に協力いただく賛同団体を募る予定。

5. 実施体制

全社協地域福祉部・VC 及び CLC の共同事務局体制とする。

6. 活動期間

当面、本年度内とする。(感染状況等に鑑みて検討する。)